

# 職場参加ニュース

## 障害のある人とない人が共に生きる職場・地域を

主な目次／世一緒・初秋のイベント案内（P2） 再会！八王子（P3） べんきょう会報告（P4） 水上公園GW（P5） 他

毎日暑いですね！NPO法人障害者の職場参加をすすめる会です。

これから秋に向けて、職場参加ビューロー・世一緒（よいしょ）を中心として当会が直接行うイベントと、当会が越谷市から運営を受託している越谷市障害者就労支援センターが実施する地域適応支援事業をはじめとする行事が、さまざま予定されています。

チェックしておいて、後日お問い合わせください。

右の写真は、7月26日（土）越谷花火大会の夜、世一緒の前で飲み物や光るおもちゃの夜店を開いた様子。都内の会社などで働き、ふだん顔を合わす機会が少ないOBなど、障害のある人ない人が多数集まった。売り上げも過去最高。店を手伝った未就労の人達の手当に。（二面にも記事）



### 世一緒スタッフ往来

★ 世一緒のグループワークで初めて仕事してお金をもらったS兄弟が、越谷市障害者地域適応支援事業の実習（前倒し）を経て、流通関係の工場に週2日、働き始めています。本人たちはまだ未熟ですが、おばさん達の使い方が上手で！よかったね。

★ 世一緒の当番スタッフのTさんとSSさんが、食品衛生責任者資格者養成研修を修了。居眠りしてたけど目が覚めると、なぜか的を得た質問まで。この資格生かしてコミカフェを。

★ 世一緒の仕事発見ミッションで職場体験を2回にわたり受け入れて頂いた東川口のコンビニエンスストアで、ただいま地域適応支援事業の実習を検討もして頂いています。

★ 世一緒の仕事発見ミッションメンバーのOさんは就労移行支援事業所へ。当番スタッフのAさんは発達障害者就労支援センター利用を検討中。徐々に腹が据わって来て…

★ 世一緒で最近高齢者が。その一人Yさんは、元板前の技を生かして、世一緒で水曜の昼食作り、月、金は介護事業所で昼食づくりで再就職。世一緒のメリットは人の縁。

花火大会の夜 世一緒に



上の写真・都内の会社で働くNさん、会社を辞めて通所施設を利用するKさん…夜店のにぎわいに心がほぐれる



右の写真・子どもたちもこんばんは。  
左の写真・就労支援センターの利用者・職員等でごったかえす世一緒に。



世一緒に・初秋のイベント案内

職場参加を語る会

毎月、第3水曜日の午前10時から開いている近況報告・情報交換の気楽なおしゃべり会です。しゃべれない人もOKです。障害のない人もどうぞ。いろんな人と知りあいましょう。この集まりは、市の就労支援事業の中に位置付けられており、就労支援センター利用者が多いですが、市外の方も参加できます。

次回・8月20日(水) 午前10時  
会場・世一緒に  
会費・無料  
予約は不要です。

主催・越谷市障害者就労支援センター  
協力・世一緒に

\*なお、8月20日は、世一緒にのスタッフたちは、県内各地の障害者たちが浦和で行うちんどんパレード(仮装等をして共に生きる社会をアピールするイベント)に参加します。希望者は同行も可。

世一緒にDEキネマ

毎月末の木曜日の夜に、マスターの手作り夕食(7月はカレー)とマスターお勧めの映画(7月はアナ雪)を観ながらのんびりと過ごします。

次回・8月28日(木)  
夕食の時間は6時半〜7時ごろ。その後映画を上映します。

会場・世一緒に  
会費・300円  
できるだけ予約して下さい。  
主催・NPO法人障害者の職場参加をすすめる会

連絡先・世一緒に0481964  
1819

ピア介護人養成研修講座

車いすなどの全身性障害者や重い知的障害のある人たちの社会参加を手伝うピア介護人をめざす研修です。会場は主に世一緒に周辺。

(定員・12人参加費無料)

第1回 9月3日(水) 1時半

開講式、介護人派遣事業とは

第2回 9月10日(水) 1時半

利用者、介護人の体験談

第3回 9月24日(水) 1時半

一緒に街に出よう(実技)

第4回 10月8日(水) 1時半

各自の家から外へ(実技)

第5回 10月15日(水) 1時半

ふりかえり、閉講式

主催・NPO法人障害者の職場参加をすすめる会  
協力・ケアシステムわら細工

連絡先・世一緒に0481964  
1819

水辺の市

オープニングイベント

9月19日(金)

越谷市役所脇の葛西用水沿いに誕生したウッドデッキでの市を盛り上げるために、いろいろな団体に呼び掛け、市を開催予定です。

世一緒にからも出店を予定しています。お手伝い募集!

連絡先・世一緒に0481964  
1819

世一緒サポーター  
直井利雪

4年前の夏、『共に働く街』訪問・交流ツアーに参加して、東京（八王子市と北区）、千葉（船橋市）、埼玉（戸田・蕨市と東松山市）の各地にある障害者の働く施設、事業所、お店などを見て回りました。有益でちょっと忙しい勉強の機会になりましたが、障害のある人、ない人が入り混じった多人数の参加者が、何台かの車に分乗して一緒に行動するわけですから、なかなかたいへんなツアーで、にもかかわらず、よくあれだけの地域を訪問することができたものだと思います。訪問先の皆さんには多大なご面倒をおかけいたしました。こうした貴重な機会をぜひまた体験したいものだ、とも思っていました。

そして、その思いが今年の夏、ついに実現しました。見学・交流先は八王子。4年前のツアーで訪問した「八王子ワークセンター」関連の諸施設、事業所、売店、レストランなどです。7月16日、朝8時半、越谷駅西口集合で11人の参加者が2台の車に分乗して出発（今回のツアー参加者は12名で1名は電車で八王子に行き、車で向かったグループと合流）しました。

「八王子ワークセンター」は1997年に発足しました。作業所などの団体支援を行うネットワーク事業と個人への就労支援事業を展開しています。私たちがうかがったのは「八王子ワークセンター」の本部で、西八王寺駅近くの千人町という繁華な街中にありました。2階建てで1階には「かてかてショップ千人町店」があります。ちなみに「かてかて」というのは八王子地方の方言で、混ぜご飯を「かて飯」というところから店名にしたということです。

昼食は「森のぱんやさん」というレストランでパスタをオーダーしました。落ち着いた小さいながらオシャレな店で、障害ある人たちもみんな生き生きと働いていました。昼食後は八王子市役所に移動し、八王子市就労生活支援センター「ふらん」の出浦枝里さんからワークシェアリングなどについて説明を受け、観光課、交通事業課、文書交換室などで働いている障害者の皆さんとお会いしました。

市役所地下1階にある売店「はっち」にも立ち寄ってみました。ビルインタイプのコンビニで、お菓子やパン、日用品、雑貨などのほか、福祉作業所で作られた木工品、石鹸なども販売しています。障害者が交代で働いて、品出し、陳列、床清掃などを行っているそうです。

最後に高尾街道沿いの山の中に建てられた「プラスチック資源化センター」を訪問しました。ここは4年前にも訪れたところですが、当時は新工場を建設中でした。今はその新工場が完成し、作業環境と効率が大幅に向上したほかペットボトルだけではなく、容器包装プラスチックの中間処理も行われていました。すべての設備をコンピュータで管理する近代的な工場になっていて、見学者用の通路も作られています。

見学後、手選別コンベアのラインで働く障害者の人たち約30人と、私たちツアー参加者12人の合同ミーティングが行われました。集団見合いの席に突然呼び出されたような感じで、最初は皆さん少し戸惑っている様子もありましたが、次第に話も弾むようになりました。

# 再会！ 八王子

ワークセンターの  
施設支援事業部「か  
てかて」



パスタランチを  
いただいた「森の  
ぱんやさん」



市役所内の文書交換  
室でワークシェアリ  
ングを視察



市役所内売店「は  
っち」



プラスチック中  
間処理施設リポ  
ート



第49回共に働く街を拓くベンキョウ会報告

私のこれまでとこれから

片麻痺サラリーマンK

北澤 誠さん

今回（6月27日）は、就労支援センターや世一緒の行事などに、高齢者施設の利用者と一緒に制作したジオラマを持参して動かして下さっている北澤さん話し手に迎えました。

私の経歴

私は北越谷に住み、都内の科学メーカーに勤め、妻、3人の子供あり、55歳。9年前の46歳の時に、突然、脳卒中（脳出血）で倒れ、左半身マヒになった。身体のコントロールはできず。会話も困難、自力で何もできず「お先真っ暗」となった。

（正確には闘ったのは病気ではなく片麻痺の後遺症だが・・・）

私の闘病

当時小学、中学、高校の3男児の養育費が必要だし、我が儘なので世話をうけたくない、どうすれば早くそれまでの生活に復帰できるかを一生懸命考えた。「この病気になったことを納得すれば、社会復帰の可能性もある\*」という看護師の言葉を信じて、リハビリ病院で3か月、療法士とケンカしながら自主的に動き、杖や装具を使って少しずつ使える身体になり、会話も通じるようになった。自主トレで自信を付けたいうで、退院の日に「これから杖をつけて都内の会社に通います。」と担当医に言ったら「とんでもない！1年は介護や訓練が必要だ」と言われた。退院直後は空いた昼間の電車に乗り、駅の乗り換えや、雨や夜も含めた訓練をした後、会社で復職の手続きをして復職支援制度でそれまでの職場に復帰した。（2年後まで勤務時間を伸ばしながら継続）が、全ての作業で困難が待ち受けていた。パソコン、書類、ファイル、セロテープ、全てうまく使えず、5分でやれた仕事が30分かかり、電話も怖くて取れなかった。

【裏話】

私は倒れて9年、紆余曲折を経て、こうやって元気で自信ある人生に戻れた。私は周囲の人達や会社の制度、始発駅から勤務等、運よく戻れたが、環境によっては志があっても復職、就職でき、自信を取り戻す形になれない人も多い。私の復活に尽力してくれた社会への感謝も含め、退職後、障害があっても自信がもてる（胸を張って歩ける）地域社会の実現のための施設を作りたいなあと思っています。  
\*「自分の生活習慣によって発病したのだから自主的にリハビリし闘うのがスジ」の意

結果的には3人の子供も成長し、自分もやりたいことができているけどここまでは結構辛かった！今は身体の麻痺が判るので対処できるが、直後は茫然。患者仲間から「病気したことで楽できるからラッキー！」「国に助けてもらわなきゃ損」と言われた時「俺はお前らと違って安易にひとの助けを頼りたくない」と心の中で叫んだ。通勤中「邪魔だ！どけ！」「エレベーターで右に立ち止まるな！」はもう慣れっこ。当初、反応できなかったが、最近「ごめん！左半身麻痺があるので左を抜かして頂戴！」と言えるようになった。以前は自分もラッシュ時にモタモタ歩く人に立腹したことを思い出し、心穏やかにしている。近所の子供が私の歩きを怪訝そうに見つめるが、子供には理解できないと、この歩きで堂々と歩き、怒らずにいる。



共に働く街を拓くベンキョウ会は年数回月末の夜に開催。多彩な参加者達の近況報告の場でもあります。

# しらこぼと水上公園の花壇整備作業とは

当会は公益財団法人埼玉県公園緑地協会から年間を通して花壇整備を受託し、就労支援利用者、施設等とシェアしています。

## 1. 地域・職場の関りの場



毎回各施設の代表が事務所に報告に行きます。本部職員も時に作業に参加されます。地域と職場が顔を合わせます。

## 2. 地域の仕事を育む場



7年前まったく素人だった私達を温かく見守っていただき、徐々に技術が向上し、仕事も増え、感謝しています。

## 3. 多様な参加を認める場



作業開始の9時に来れるのは世一緒が主。送迎や給食がある施設はそれぞれ可能な時間帯で参加します。

## 4. 支え方を発見する場



立ち歩く人、草と花を区別しない人、座り続ける人、各自の役割と支え方を、仕事全体の中で発見する機会です

## 5. 働いてお金を得る場



ひきこもりから外へ出るきっかけにもなるお金。お金は買うための手段だけでなく、人の役に立った証明でもあります。

## 6. リハビリの場



術後、退院後のからだの調整やひきこもりから昼夜逆転を直してゆく上で、負担のない短時間の簡単な仕事が効果的。

## 7. 周りを変える工夫の場



バリアフリーのプランターはかがめない高齢者や装具利用者には便利。でも車イスには？働きやすい環境への模索も。

## 8. 就労準備の場



昨夏の写真。その後、この中からも就職した人や就労のための準備に入った人が増えてきました。

水上公園花壇整備のグループワークは8年目。地域・職場にとって(左)、また参加者にとって(右)の意味をまとめました。

# 世一緒 スタッフ日記

訓練校で学んでいる事

野口 雅晶

最初はサービスの訓練から始まりました。サービスの中でも、接客の方と、棚卸作業の2種類あり、接客訓練の方から始まりました。当時の心境は、自信が余り無く声もあまりにも小さかった為、「声が小さい」と叱られることもしばしばありました。最近では、声を大きく出すようになっていきます。

次に始まったのは、パソコンのwordです。社外文書や社内文書をやりました。今現在は、word、excelを終え、powerpointをやっています。難しいけれど、頑張って覚えようと思います。今現在、やっているのはパソコン、清掃、介護、事務、サービス、社会生活の6種類です。どれも、実技訓練や、講話などです。後、指適を受けたのが、休み時間中、ふざけすぎない！といわれたので、しっかり直していきたいと思えました。今の訓練校で、友達との付き合い方や、授業を受ける時の様子、休み時間を活用して友達とどう遊んだらいいか、など、いろいろ学ばせてもらっています。

しごとのないよう

秋山 俊也

ぼくはしごとやめました。こんどじっしゅうやります。ぼくは世一緒でんわとうばんやりたいです。ポス



世一緒スタッフは主に就労支援センター利用者で、ピアサポート（仲間同士の支援）を希望した人です。サポーター（非常勤やボランティア）の支えを受けて、世一緒の当番（ピアサポート実習）や仕事発見ミッション（事業所訪問）、グループワーク等を希望により行っています。今回の筆者はみな越谷市民ですが、他市の人も参加できます。

テイニングやりたいです。市役所駐車場実習やりたかった。就労支援センターの実習やります。7月22日火曜日就労支援センター9時半集合、10時からやります。ぼくはかいしややめました。ぼくはあかりのかいしややめました。ぼくはそうじがやりたいです。ぼくはかつぽにいきたいです。ぼくはうちのてつだいやりましました。さんぽにいってます。ぼくはサッカーやっています。ぼくは福祉村陸上やっています。ぼくはソフトボールやっています。ぼくはくさかりもやっています。ぼくはしごとやめたりゆうはしごとがむずかしたかったです。ぼくは洗濯したりおかあさんのてつだいやっています。ぼくはサッカー試合やりたいです。ぼくはこぼとかんにかよったりしています。しごとがはやくしたいです。こんどパチンコ屋の掃除なので一生懸命がんばります。しごとしたいです。

八王子ワークセンターについて

富樫 千亜紀

私は昨日ワークセンターに行き、朝8時30分までに越谷駅西口のロータリーに集合し車2台で行きました。新しい圏央道を走って3時間かかったやいました。ワークセンターのかてかてに行つて見学したら知的障害者、精神障害者の方がいて、バッグとか、しおりなど絵を書いたりして、車で多動しながら昼食をラン

チを食べました。暑いから飲み物を飲んで移動、市役所がなぜ中核市になつちやって中も拝見しました。いろいろ市役所の中は広くてビックリした。その次に車で移動はつちはものすごくよかったです。その後ワークシェアリングでゴミの分別作業をやっているとどこかに行き、中に入ると食べ物臭いや注射針がおいであつたり危険なものとか、ふつうのスーパーマーケット売つてるレトルトとか発ぼうスチロールやペットボトルがありました。生ゴミの処理も大変そうだった。

交流会で前のプレハブの時より前働いてた方と新しい方が2名と清掃員が1人いた。少し障害をもつていて、しゃべり方がうまく言える人もいたり照れ屋さんもいた。地元の方がほとんどいて、交流を深まってくれました。私が思ったのはゴミの分別作業は八王子と越谷市のやり方の分別作業は大変そうに思いました。あとは交流会で職場参加ではどういう事をやっているのか？と質問されたところ、世一緒の活動日替わり当番グループワークの活動を話したら向こうの方がわかってくれたのでよかったです。帰りは少し遅くなっちゃったけど車の中の移動は大変でした。市役所の中の売店では中が広くて食べ物や飲み物をたくさん買ってしまいました。4年前のワークシェアリングとまた違って

家でなにをやっているか

上梨子 三恵

お父さんが、かんぞうがんでなくなつてからだいがたつてから、お母さんと、私二人です。最初のうちは私は泣きつきりだったけれどだいが、おちついてきました。

家にいるときには、朝おきると、ほとけさまに、お茶と、水と、ごはんをあげるようにしています。ときどき、お母さんと墓まいりにいってあります。たまには、お母さんと、駅前サイゼリアでお昼ごちそうになります。買い物は、私が、出来たおかずを自車で、おかずを、かつたりしてあります。たまには、カラオケにもいって、はっせいれんしゅうをしてあります。

ときどきは、お母さんにおこられるけど私は、気にしなくいっしょけんめいに、お父さんのぶんまで、がんばつてあります。おぼんには、お客さんが来るとお茶をだしたりしてあります。お母さんのぶんまで仕事をがんばりたいと思います。

## NPO法人障害者の職場参加をすすめる会